

はしがき

*Rhythm Pattern Listening*は、日本語を母語とする英語学習者の発音を矯正することにより、リスニング力を向上させることを目指したテキストです。現在では、インターネットを活用すれば、いわゆる「生の英語」を常時聞くことができますから、そうした英語のシャワーを浴びることでリスニング力を鍛えようとしている学習者は少なくないと思います。確かにリスニング力をつけるには多量の英語音声インプットに触れることが不可欠です。しかし、音声をただやみくもに浴びるだけでは、リスニング力の効果的な伸びにはつながらないのです。英語を聞き取れるようになるためには、リスニングの入り口の「音声知覚」の段階で、英語の音を正確に、かつ、すばやくキャッチできないといけません。しかし、体の中に英語の正しい音声データベースが構築されていないと、耳から入ってきた音が英語の音声だと認識できず、キャッチし損ねるのです。このテキストでは、英語の音声データをスムーズに蓄積できるように、日本語の特徴をそのまま持ち込んだゆがんだ英語発音を徹底的に矯正します。発音矯正トレーニングの際には「ある英単語がいくつの音節から成り、どの音節に強弱アクセントを置くのか」を視覚的に提示した「英単語リズムパターン」を活用し、体を動かしながらそのパターンを体得していくことで、英語を正しく聞き取れる耳の獲得を目指します。

全15ユニットから成るこのテキストでは、各ユニット冒頭で、自然な英語発音と日本語の影響を受けたゆがんだ英語発音とを取ってペアで聞かせることによって、その違いに気付かせ、日本語の影響を受けた英語発音のゆがみの原因や英語特有の音変化や強勢拍リズムなど、毎回1つのテーマに絞って学んでいきます。トレーニングといっても堅苦しいものではなく、筆者が講師をつとめたNHK Eテレの英語番組『エイエイGO!』や「即レス英会話」シリーズの発音体操、強弱書道など、視聴者から好評を博したユニークなものを多数取り入れました。発音の精度を上げていくために、日本語を母語とする英語学習者が特に苦手とする音素も各ユニットで取り上げ、また、150語から180語程度の長さの面白い内容の実話の聞き取りトレーニングを通して、聴解力も高めていきます。本テキストで紹介するユニークな発音トレーニングを一つ一つ丁寧にこなしていけば、リスニング力の飛躍的な伸びを体感できるはずです。

最後に、本テキストの作成にあたっては金星堂編集部の池田恭子さん、長島吉成さんに大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

CONTENTS

はしがき

本テキストの使い方

UNIT 1	Where's the hot spring on this map? 11 母音挿入の阻止
UNIT 2	Exercise more regularly to stay healthy. 18 英語と日本語の「音のカタマリの数」の違い
UNIT 3	We have three children and two dogs. 25 英語の「強弱」アクセント
UNIT 4	Enjoy the rest of your stay in Hawaii! 32 アクセントの位置
UNIT 5	I'm an assistant manager. 39 英単語リズムパターン
UNIT 6	We're looking for a drugstore. 46 子音結合 1 (語頭に 2 つの子音)
UNIT 7	Go straight down this street. 53 子音結合 2 (語頭に 3 つの子音)
UNIT 8	You should always help each other. 60 音の変化 1 (連結)

UNIT 9	I won't let you down. 67 音の変化 2 (同化)
UNIT 10	Did you have a good time? 74 音の変化 3 (脱落)
UNIT 11	What kind of sports do you like? 81 英文のリズム 1 (内容語と機能語)
UNIT 12	What do you think of his plan? 88 英文のリズム 2 (等間隔リズム)
UNIT 13	Would you like another one? 95 基本的な英語のイントネーション
UNIT 14	Let me have a look. 102 日常会話表現で総復習 1 : Units 1~7
UNIT 15	It's a pleasure to meet you. 109 日常会話表現で総復習 2 : Units 8~13

本テキストの使い方

Record Your Performance

ユニットでの学習をする前の現時点での発音パフォーマンスを記録します。スマホのボイスレコーダー・アプリなどを利用して、3つのキー・センテンスを自分なりに音読している音声を録音します。録音の際は“Unit 1. April 14, 2023. One. Where’s the hot spring on this map? Two. Tom went to ...”のように冒頭でユニット番号と日付も録音しておくといでしょう。録音した音声は各ユニットの最後で再度使うので、削除せずに保存しておきます。

Feel the Difference

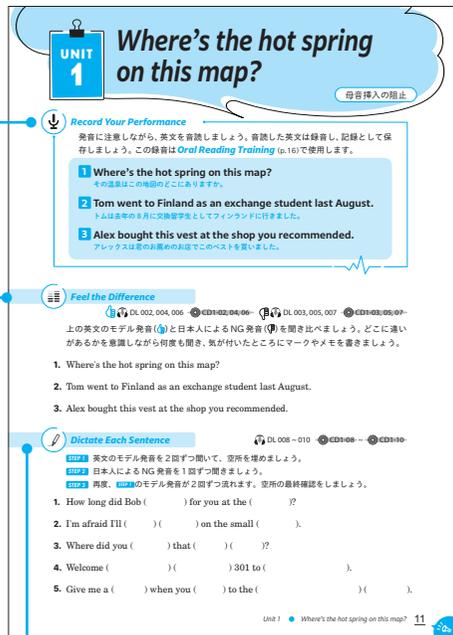
キー・センテンスのモデル音声と日本人にありがちなNG発音をペアで聞き比べ、どのような違いがあるかに意識を向けます。何度も聞いて、英文中で特に違いが感じられる箇所にマークをつけたり、気付いたことをメモしておきます。

Dictate Each Sentence

ユニットでの学習をする前に書き取りの問題に取り組みます。**STEP 1**で英文のモデル発音を2回聞き、空所の穴埋めをしていきます。**STEP 2**では、日本人にありがちなNG発音で読み上げられた音声を聞きます。**STEP 2**のヒントによって穴埋めできた箇所には、下線を引くなどのマークをつけておきましょう。マークをつけた箇所があなたのリスニングの弱点です。**STEP 3**で再度、英文のモデル発音を2回聞き、空所の最終確認をします。

Tips to Remember

ユニットでの学習ポイントを解説する動画を視聴します。動画の中で発音練習を促す箇所があるときは、実際にモデル音声を真似て発音してみてください。



Pronunciation Training

動画で学んだ学習ポイントを定着させるための発音トレーニングをします。指で図形を描いたり、体操をしたりしながら発音するトレーニングでは、実際に身体を動かしながら、発音練習をしましょう。

Partial Dictation Drill

学習ポイントが定着できているかを確認するため、書き取りの問題に取り組みます。

Focus on Sounds

日本語を母語とする英語学習者が苦手とする子音や母音の音素の発音の仕方について解説する動画を視聴します。動画の中で発音練習を促す箇所があるときは、実際にモデル音声を真似て発音してみてください。ユニットによっては、音遊びをしながら発音練習をする **Fun with the Sounds** のコーナーもあります。Pronounce Words with the Soundsのコーナーでは、ターゲットとなる音素を含んだ単語・フレーズや英文を発音し、ペアでお互いの発音ができているかどうか確認してみましょう。

Listening Drill: Question-Response

TOEIC L&R のリスニング・セクション Part 2形式の応答問題に取り組んだ後、ペアで役割練習をします。応答問題では、1つの質問または発言と、それに対する3つの答えがそれぞれ一度だけ音声で流れるので、最もふさわしい答えを選び、マークします。

Pronunciation Training DL 011

1. モデル音声を参考に、余分な母音を入れないように意識しながら、英語の子音だけを10回連続して発音しましょう。

① p, p	⑦ m, m
② b, b	⑧ s, s
③ t, t	⑨ sh, sh
④ d, d	⑩ ch, ch
⑤ k, k	⑪ ts, ts
⑥ g, g	

2. モデル音声を参考に、英単語を一番後ろの音から発音し、その音を固定した上で、徐々に前の音を付け足して発音しましょう。

① [map]	p → ap → map
② [August]	t → st → ust → gust → August
③ [recommended]	d → ed → mended → commended → recommended
④ [amusement]	t → ent → ment → usement → amusement
⑤ [park]	k → ark → park

Partial Dictation Drill DL 012

英文のモデル発音を2回ずつ聞いて、空所を埋めましょう。

- Is this your () () to () ?
- () me () you to the () .
- We () a close () at the () .
- What a () () you () !
- You can see the () () the () of the mountain.

Unit 1 • Where's the hot spring on this map? 13

Focus on Sounds online video

/t/ と /v/

単語の色が付いた部分の音に注意しながら、次の日本語と英語の音声を交互に聞いてみましょう。

1. ファースト	first	2. ナイフ	knife
3. ビジュアル	visual	4. ライブ	live

英語の /t/ と /v/ の音は、上の前歯を下唇に「軽く」押し当てたまま息を出すことによって出すことができます。/t/ は声を伴わない無声音、/v/ は声を伴う有声音です。それぞれ、日本語の「フ」や「ブ」にならないよう気をつけましょう。

息を思い切り吐き出しながら /t/ の音を連続で出し、その後、声を出して、「ライブ」の音声をイメージしながら /v/ の音を出してみましょう。

Pronounce Words with the Sounds

単語を発音した後、フレーズで発音しましょう。また、正しい発音ができているかどうか、ペアでお互いに確認しましょう。

father, favorite, festival → my father's favorite festival

Listening Drill: Question-Response DL 014

- 質問または発言を聞いて、応答として最も適切なものを (A) ~ (C) から1つ選びましょう。

① (A)	(B)	(C)
② (A)	(B)	(C)
③ (A)	(B)	(C)
- 答え合わせの後、もう一度会話を聞き、ペアで会話の役割練習をしましょう。

14

体で覚える！ リズムパターン英単語

発音できる・聞き取れる語彙力を増強するコーナーです。日本語を母語とする英語学習者が発音する際によく間違える英単語をジャンル別に精選し、音節数が小さいものから大きいものに並べて提示しています。「音節」とは「音のかたまり」のことで、楽譜で言えば、「音符」に相当します。1つの音節には基本的に1つの母音が入っていて、例えば transportation は、trans·por·ta·tion のように4つの音節から成り、このように単語を音節単位で分割して提示することを「分綴」と言います。

本テキストでは「ある英単語がいくつの音節から成り、何番目の音節を一番強く読むのか」を視覚的に提示したものを「英単語リズムパターン」と呼んでいます。このリストでは、各英単語のリ

ズムパターン(Rhythm Pattern)を、RP1(数字表示)とRP2(●や○のバブル表示)の2種類で表しています。例えば、transportation(trans·por·ta·tion)のRP1は「4 3」で、これは「4音節の英単語で、3つ目の音節を一番強く発音する」ことを表します。transportation のRP2は「○●●」です。

- は、「強く、高く、長く、はっきりと」
- は、「弱く、低く、短く、あいまいに」
- は、普通の強さで発音します。

つまり、transportation は英単語リズムパターンが「○●●」なので、「タッターッ」というリズムで発音します。小さい白丸の○は思い切り力を抜いて発音しましょう。

「日英ギャップ」とは、日本語に対応するカタカナ語を持つ英単語について、その「カタカナ語の音のかたまりの数(モーラ数)」から英単語の音節数を差し引いた数値のことです。例えば、1音節語の flight のカタカナ語「フライト」は、モーラ数が「フ・ラ・イ・ト」で4なので、 $4 - 1 = 3$ となり、日英ギャップは3となります。日本語を母語とする英語学習者は、このような日英ギャップが大きい単語を発音する際に、英単語リズムパターンを崩してゆがんだ発音をすることが多いので、特に発音に注意が必要です。

このリストでは、同じ英単語リズムパターンを持つ単語をまとめて提示しているので、これらの単語を発音する際には、同じリズムパターンであることを強く意識しながら、練習をしてください。

DL 017 ●●●●●●

リズムパターン英単語

① 乗り物・交通

英単語の「リズムパターン」(いくつの音節から成る単語で、何番目の音節が一番強く読むか)を提示して、発音練習をしましょう。リズムパターンが同じ単語は特にそれを強調して、同じリズムで発音してください。

対応するカタカナ語を持つ英単語で、「日英ギャップ」(カタカナ語のモーラ数から英単語の音節数を差し引いた数値)が大きいものは特に注意です。正しい音節の数を意識して発音しましょう。

単語	分綴	音節数	RP1	RP2	カタカナ語	モーラ数	日英ギャップ
1	flight	flight	1 11	●	フライト	4	3
2	train	train	1 11	●	トレイン	4	3
3	truck	truck	1 11	●	トラック	4	3
4	bike	bike	1 11	●	バイク	3	2
5	boat	boat	1 11	●	ボート	3	2
6	jet	jet	1 11	●	ジェット	3	2
7	bus	bus	1 11	●	バス	2	1
8	plane	plane	1 11	●			
9	ship	ship	1 11	●			
10	taxi	tax-i	2 21	●	タクシー	4	2
11	spaceship	space-ship	2 21	●○	スペースシップ	7	5
12	subway	sub-way	2 21	●○	サブウェイ	4	2
13	airplane	air-plane	2 21	●○			
14	railroad	rail-road	2 21	●○			
15	bicycle	bi-cycle	3 31	●			
16	transportation	trans-por-ta-tion	4 43	○●●			

Unit 7 ●●●●●● When's the hot spring on this map? 17



英単語のリズムパターンを体に染み込ませよう!

ここまで英単語の「音節の数」や「音節の強弱の発音の仕方」、「強音節の位置」について学んできました。本テキストでは、ある英単語が「いくつの音節から成っていて、どの音節を一番強く発音するか」を、その英単語のリズムパターンと呼ぶこととします。「強く・高く・長く・はっきりと」発音する強音節を●、「弱く・低く・短く・あいまいに」発音する弱音節を。で表します。次の例を見てみましょう。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. manager | man·ag·er | ●。。 (ター・タ・タ) |
| 2. photographer | pho·tog·ra·pher | 。●。。 (タ・ター・タ・タ) |
| 3. engineer | en·gi·neer | ○。● (タ・タ・ター) |

3音節以上の英単語の中には、最も強い「第1アクセント」以外に、第1アクセントに準じる強さの「第2アクセント」を持つものもあります。英単語リズムパターンでは、第2アクセントを持つ音節は大きな白丸(○)で表記します。

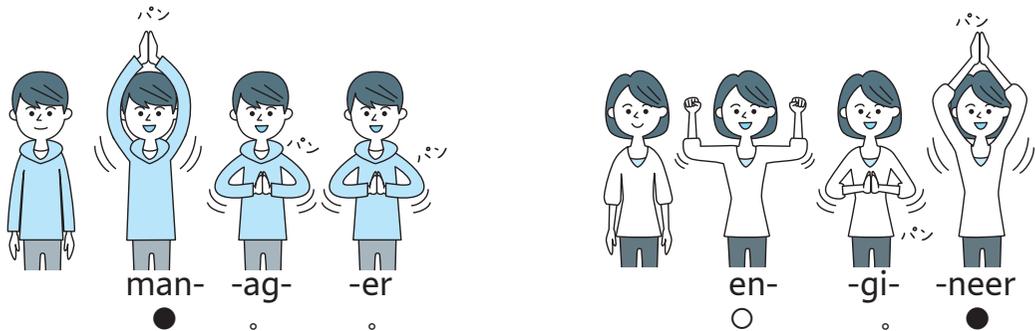
通じる英語発音を目指すためには強弱のメリハリをしっかりとつけることが重要です。実際の発音、特に発音練習をする際には、●の音節はできるだけ上げさ気味に「強く・高く・長く・はっきりと」、その反対に。の音節は力むことなく「弱く・低く・短く・あいまいに」発音して強弱のコントラストをはっきりとさせます。○の音節はふだん話しているときのような普通の強さで発音するようにするとちょうどよいでしょう。

各英単語の正しいリズムパターンを定着させるためには、強音節の「強く・高く・長く・はっきりと」した特徴、弱音節の「弱く・低く・短く・あいまいに」という特徴を実際に身体の動きとして表してみるとよいでしょう。動画ではこの「発音体操」の例をいくつかお示しします。一緒に身体を動かしながら発音してみてください。自分のオリジナルの発音体操の動きを考案してみるのもお勧めです。



Pronunciation Training

1. 体を動かしながら発音することでリズムパターンを体に染み込ませる、「発音体操」をしましょう。強音節(●)は、両腕を弧を描くように高く上げ、両手のひらを合わせます。この際、「強く・高く・長く・はっきりと」をイメージし、体を大きめに動かします。弱音節(。)は、胸の前で「パン」と両手で軽く叩きます。「弱く・低く・短く・あいまいに」をイメージした小さな動きです。第2強勢を持つ音節(○)は、両腕を90度に曲げて肩幅の開き具合で止めます。両手は「ゲー」の形にします。manager(●。.)やengineer(○。●)の場合は、「気をつけ」の姿勢から、次のように動きます。



2. モデル音声を聞き、発音体操をしながら、発音の練習をしましょう。

DL 073 CD1-73

●。.	●○	●。○	。●。	●。○。
yo·gurt	home·work	In·ter·net	pi·an·o	su·per·mar·ket
piz·za	rain·coat	u·ni·form	va·ca·tion	mo·tor·cy·cle
moun·tain	mid·night	Sin·ga·pore	Ko·re·an	or·di·nar·y
hu·mid	birth·day	cel·e·brate	em·bar·rased	wa·ter·mel·on



Partial Dictation Drill

DL 074 CD1-74

英文のモデル発音を2回ずつ聞いて、空所を埋めましょう。

- The () was () and showed them ().
- The () () to do more ().
- () still () the major ().
- We () () because the () were not funny at all.
- Emma has been a () () since 2020.





R音の発音

単語の色のついた部分の音に注意しながら、次の日本語と英語の音声を交互に聞いてみましょう。

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. ラビット | rabbit | 2. ライス | rice |
| 3. ロボット | robot | 4. オレンジ | orange |

英語のR音は、唇を丸めて少し前に突き出し、舌先をそらせて、口の中で浮いた状態にして声を出すと出るこもったような音です。R音の発音の際には、歯茎に舌先が触れることのないように特に気をつけましょう。これに対して、日本語の「ラ行音」では、舌先が前歯の歯茎の後ろ辺りをポンと勢いよく弾くように叩いて音を出します。

Fun
with the
Sounds

ペアを組み、一人が「ラララララ…」と日本語の「ラ」の音を連続して出し続けます。相手の人がどこかのタイミングで1回手を叩くので、瞬時に日本語の「ラ」の子音を英語のR音に替えて、「rあrあrあrあrあ…」と連続した音を出しましょう。相手の人がまた手を叩いたら、日本語の「ラ」に戻して発音しましょう。

Pronounce Words with the Sounds

単語を発音した後、センテンスで発音しましょう。また、正しい発音ができているかどうか、ペアでお互いに確認しましょう。

remember, run, rain → Remember not to run in the rain.



Listening Drill: Question-Response



DL 075



CD1-75

1. 質問または発言を聞いて、応答として最も適切なものを (A) ~ (C) から1つ選びましょう。

- ① (A) (B) (C)
 ② (A) (B) (C)
 ③ (A) (B) (C)

2. 答え合わせの後、もう一度会話を聞き、ペアで会話の役割練習をしましょう。



1. 英語のストーリーを聞いて、空所を埋めましょう。

DL 076 CD1-76

The Oldest Astronaut

At 82, Wally Funk has become the oldest person to go to space. She was chosen by Jeff Bezos of Amazon fame to ① _____ developed by Blue Origin, an aerospace and spaceflight company owned by Bezos.

5 Funk has been ② _____ all her life. She took her first flight lesson when she was nine, and ③ _____ the pioneering Women in Space program in 1961. Her dream of going to space ended suddenly when the program was canceled. That didn't stop her from becoming an ④ _____ and a flight instructor, which was extremely rare for women of Funk's generation. And now she has fulfilled her life-long dream of going to space.

10 Traveling at almost three times the speed of sound, the Blue Origin rocket took ⑤ _____, including Funk, 100 kilometers above the Earth. After a trip lasting about 10 minutes, the rocket returned to the Earth. Funk was overjoyed to have made the trip and descended in the rocket to find champagne and a ⑥ _____ waiting for her.

Notes fame 有名 pioneering 先駆的な descend in ~で降りる

2. 空所を埋めたストーリーを読み、次の英文がその内容に合っていればT、合っていなければFにマークしましょう。

- ① Wally Funk became the oldest president of Blue Origin. [T / F]
- ② The cancellation of the Women in Space program made Funk give up her dream to become a flight instructor. [T / F]
- ③ The Blue Origin rocket came back to the Earth with Funk and the other four passengers. [T / F]





1. 音変化に注意しながら、英文の音読練習をしましょう。

DL 077 CD1-77

1 I'm an assistant manager.

○ ○ ○ ● ○ ● ○ ○

2 Everyone makes mistakes.

● ○● ● ○ ●

3 What made you decide to become a professional photographer?

● ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ○ ● ○ ○

2. 音読練習後に英文を録音して、冒頭のRecord Your Performance (p.39)で録音した自分の音読パフォーマンスと比較して聞いてみましょう。



本Unitのポイントである「リズムパターン」はしっかりと意識できていますか。英単語のリズムパターンの定着のために有効な活動が「発音体操」です。発音体操は、強音節の「強く・高く・長く・はっきりと」した動き、弱音節の「弱く・低く・短く・あいまい」な動きを意識すれば、どんな英単語でもさまざまな体の動きで表すことができるはず。いろいろな楽しい動きを考案して、クラスメートとシェアし、みんなで体を動かしながら、通じる発音を体に染み込ませていきましょう。

達成度を5段階で自己評価しましょう。

check!

英単語リズムパターン

できなかった		ふつう		うまくできた
1	2	3	4	5
----- ----- ----- ----- -----				

リズムパターン英単語

⑤ 職業

英単語の「リズムパターン」(いくつかの音節から成る単語で、何番目の音節を一番強く読むか)に着目して、発音練習をしましょう。リズムパターンが同じ単語は特にそれを意識して、同じリズムで発音してください。

対応するカタカナ語を持つ英単語で、「日英ギャップ」(カタカナ語のモーラ数から英単語の音節数を差し引いた数値)が大きいものは特に要注意です。正しい音節の数を意識して発音しましょう。

	単語	分綴	音節数	RP1	RP2	カタカナ語	モーラ数	日英ギャップ
1	florist	flor·ist	2	2 1	●。			
2	architect	ar·chi·tect	3	3 1	●。○			
3	astronaut	as·tro·naut	3	3 1	●。○			
4	journalist	jour·nal·ist	3	3 1	●。。	ジャーナリスト	6	3
5	manager	man·ag·er	3	3 1	●。。	マネージャー	5	2
6	programmer	pro·gram·mer	3	3 1	●。。	プログラマー	6	3
7	scientist	sci·en·tist	3	3 1	●。。	サイエンティスト	7	4
8	firefighter	fire·fight·er	3	3 1	●○。			
9	announcer	an·nounc·er	3	3 2	。●。	アナウンサー	6	3
10	musician	mu·si·cian	3	3 2	。●。	ミュージシャン	5	2
11	engineer	en·gi·neer	3	3 3	○。●	エンジニア	5	2
12	interviewer	in·ter·view·er	4	4 1	●。○。	インタビュアー	6	2
13	operator	op·er·a·tor	4	4 1	●。○。	オペレーター	6	2
14	comedian	co·me·di·an	4	4 2	。●。。	コメディアン	5	1
15	interpreter	in·ter·pret·er	4	4 2	。●。。			
16	photographer	pho·tog·ra·pher	4	4 2	。●。。	フォトグラファー	6	2